

令和8年度 第1回 初生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月28日（火）14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 初生小学校 調べ学習室
- 3 出席委員 山崎 晋司、柴田 宏祐、上乘 菜穂子、辻村 拓磨、大野木 龍太郎、有友 真貴、岩出 綾子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 夏目 聖（三方原協働センター）
- 6 学 校 井口 幸英（校長）、徳増 弘宣（教頭）、高林 美奈（主幹）、清水 芳晃（生徒指導教諭）、田中 由紀子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水 悠（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 田中 由紀子

10 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、山崎委員が会長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された山崎委員から、辻村委員を副会長に指名する旨の報告があった。

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、上乘委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

12 前回議事録の確認

13 協議事項

- (1) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (2) 学校いじめ防止基本方針について
- (3) 令和8年度学校運営協議会の自己目標について
- (4) 「夢育やらまいか」意見書（案）について

14 会議記録

司会の高林から、委員総数7人のうち7人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。

(1) 令和8年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・昨年度の第4回の会議録では、「学級担任制から学年担任制へ、より多くの先生が子供と関わる仕組みに変える」となっているが、委員の間でも賛否両論があったようだ。学校として、担任一人で抱え込むのではなく、学年全体で学年の子供を見るということは良いことだと思うが、親がそれを理解することについて、学校としてはどう考えているのか。（大野木委員）

→中学の教科担任制のイメージではなく、大半は担任が子供達と関わるが、一人で抱え

込むのではなく、多くの目で子供達を見ながら関わりを持つというイメージ。昨年度も指導者入替の授業はあったが、特にそれについて保護者からの質問等はなかった。(校長)

・例えば、学期ごとにクラス担任を変えるというようなことをすれば、この学校は学年全体で見るのだと分かる。親が担任に相談しづらい状況があった場合、学年の先生であれば誰でも相談できるというメッセージを明確に伝えた方が良いと思う。(大野木委員)

・担任が困っているという SOS を保護者へも垣根なく伝えられる関係性がつくれると良い。(大野木委員)

・学校教育目標の「なりたい自分を共に目指して さあ、やってみよう！」は、わかりやすく大変良い。小さい時から、そのような目標の積み上げが大切だと思った。(柴田委員)

・自分らしさや自分をアピールすることは良いが、その反面、我慢が足りない子供が増えていると思う。我慢することは、粘り強さにつながると思う。(上乘委員)

・P6(2)「聴く力」の育成重視において、先生は子供の話を途中で遮らないで、最後まで聞いてあげてほしい。子供が納得できる丁寧な対応をお願いしたい。(大野木委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、生徒指導教諭から別紙資料に基づき、いじめ防止基本方針についての説明があった。

(3) 学校運営協議会の自己目標について

議長の指示により、主幹から説明があり、今年度の自己目標を、前年度末に協議設定した「より充実した学校支援を行うために、学校運営協議会・初生小応援団の活動について、より広くより深く知ってもらう。」という自己目標で良いかを確認をした。

全員異議なくこれを承認した。

(4) 「夢育やらまいか」意見書について

議長の指示により、教頭から資料に基づき説明があった。

全員異議なくこれを承認した。

15 その他連絡事項等

・司会から、次回会議は、令和8年9月17日(木)午後2時00分から調べ学習室で開催することが確認された。

・司会から、次回の議長の選出について委員に意見を求めたところ、辻村委員が次回議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。